

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 1 区分

【発行日】平成 19 年 2 月 15 日 (2007.2.15)

【公表番号】特表 2006-521911 (P2006-521911A)

【公表日】平成 18 年 9 月 28 日 (2006.9.28)

【年通号数】公開・登録公報 2006-038

【出願番号】特願 2004-564007 (P2004-564007)

【国際特許分類】

B 0 1 D 39/16 (2006.01)

D 0 3 D 15/00 (2006.01)

G 2 1 F 9/06 (2006.01)

A 6 1 B 19/08 (2006.01)

A 6 1 M 1/22 (2006.01)

A 6 1 M 16/06 (2006.01)

【F I】

B 0 1 D 39/16 D

D 0 3 D 15/00 A

D 0 3 D 15/00 H

G 2 1 F 9/06 5 2 1 M

A 6 1 B 19/08

A 6 1 M 1/22 5 0 0

A 6 1 M 16/06 A

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 12 月 20 日 (2006.12.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

水性流れを濾過する方法であって、

水 可溶性ポリビニルアルコールの繊維材料を含む濾材を含むフィルターに該水性流れの少なくとも一部を通過させる工程を含む、方法。

【請求項 2】

前記フィルターが、

(a) 水 可溶性ポリビニルアルコールのヤーン又はローピングを含む濾材；及び

(b) 該濾材のための支持体であって、該支持体はその側壁を通して伸びる流路を有する管状のコアを含み、前記流路が該管状コア及び該流路を通して水性流れの流動を可能にするものである、支持体；
を含み、該水 可溶性ポリビニルアルコールのヤーン又はローピングが該コア上にそして該流路に渡って巻かれている、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記水性流れが放射性材料を含有し、そして前記方法が汚染されたフィルターをもたらすものである、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記放射性材料が原子力産業で生じるものである、請求項 3 に記載の方法。

【請求項 5】

前記汚染されたフィルターの少なくとも一部が可溶性になるような条件下で、該汚染されたフィルターを水性浴中に据えることによって該汚染されたフィルターを処理する工程；及び

該水性浴内で他の材料から前記放射性材料の少なくとも一部を分離する工程；
を更に含む、請求項 3 に記載の方法。

【請求項 6】

水性流れの濾過に好適なフィルターであって、

(a) 水 可溶性ポリビニルアルコールの繊維材料を含む濾材；及び

(b) 該濾材のための支持体であって、該支持体はその側壁を通して伸びる流路を有する管状のコアを含み、前記流路が該管状コア及び該流路を通して水性流れの流動を可能にするものである、支持体；

を含み、該水 可溶性ポリビニルアルコールの繊維材料が該コア上に及び該流路に渡って巻かれている、フィルター。

【請求項 7】

前記繊維材料が水 可溶性ポリビニルアルコールのヤーン又はローピングを含むものである、請求項 6 に記載のフィルター。

【請求項 8】

約 $0.1 \mu\text{m}$ ~ 約 $2500 \mu\text{m}$ の範囲の呼称細孔寸法を有する、請求項 6 に記載のフィルター。

【請求項 9】

約 $0.1 \mu\text{m}$ ~ 約 $100 \mu\text{m}$ の範囲の呼称細孔寸法を有する、請求項 6 に記載のフィルター。

【請求項 10】

前記コアが水 可溶性又は水 分解性のポリマーを含むものである、請求項 6 に記載のフィルター。

【請求項 11】

前記濾材の中又は上に、原子力産業で生じる放射性材料を更に含む、請求項 6 ~ 10 のいずれかに記載のフィルター。

【請求項 12】

約 37°C よりも高い温度の水中で可溶性になる、請求項 6 ~ 10 のいずれかに記載のフィルター。